

比布中央学校6年生が議会に提案 「比布町の未来づくり」

毎年恒例の子ども議会での提案は、とても新鮮で楽しくなるものが多いです。

今年は、比布町のカントリースサインにもある「スキーといちご」が主なテーマだったように感じました。そして、それらをアピールするにはどのような方法があるのかを具体的に提案していただきました。また、買い物場所についての現状、さらに子ども子育て支援についても提案がありました。

これから比布町の未来を創っていく子どもたちの提案実現に向けて、大人にながでできるのか、議会の中で取り上げてみようと思います。

ご提案いただいた6年生の皆さん、ご指導いただいた教職員の皆さま、ありがとうございます。

(植西 浩一)



子ども議会提案内容

1班 子ども支援・子育て支援

子ども支援を充実させ、子育て世帯が住みたいと思える町にするために、子育てボックスや子育て施設の導入などの取り組みが紹介されました。



3班 特設の特産品売り場の設置

比布町の特産品をスキー場に集めて紹介することで、観光客に町の魅力を知ってもらう取り組みが提案されました。設置場所は、多くの人の目に留まりやすいお菓子コーナー入口付近がよいのではないかと提案がありました。



5班 新しい特産品の販売

新しい特産品を開発し、比布町に人を呼び込む取り組みが提案され、メロン飴やいちごソーダ、メロン大福などの商品アイデアが紹介されました。



2班 オリジナルグッズの販売

比布町の魅力をさらに発信するため、オリジナルグッズを増やす提案があり、いちごちゃんをモチーフにしたハンカチやエコバック、キーホルダーなどのグッズが提案されました。



4班 スキー場の活用

スキー場にぎわいづくりに向け、幅広い世代が楽しめる冬の大会の開催が提案されたほか、サマーゲレンデや花畑の整備など、夏の活用方法や廃止リフトを活用したジップラインについて紹介されました。

